

梅鶯仏壮報恩講

十一月二十七日(土)

夕六時より

*当初予定から日程が変更となりました

。お勤め(正信偈行譜)

。住職法話

※懇親会

法輪寺の報恩講も左記の通りお勤め致しますので、是非ともお参り下さい。

日時：十一月二十三日(火・祝)

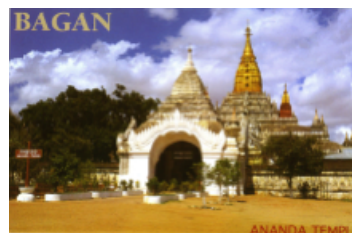
講師：寺川幽芳師



坂田組のお待ち受け法要が、去る9月25日に厳かさと華やかさの中で勤められた。梅鶯仏壮からは企画当初から住職へ企画担当と田中薫氏(広報担当)が参画いたしました。(写真法要終了後)前列右より、田中薫氏・若原学長・山本ピアニスト・花月オペラ歌手、後列左が主戦。



シュエジーゴンパコ



アーナンダ寺院

2月27日(二日目) 前号のつづき
市場今日は満月の日で、休みだした。他の露天市場を散策する。女性や子供達は、タナカという名前前の木をこすつて粉にして水と混ぜ合わせる。顔に塗って止めや、清涼感を保っているそう。パコダ(仏塔)が平野一帯360度の眺望で、大小さまざまな遺跡が残っています。国の管理で保護されています。この一帯はビルマ屈指の仏教聖地となつています。黄金に輝くシュエジーゴンパコダ、バカンでも最も美しいと云われている。アーナンダ寺院など参拝でも沢山の参拝者や供



しまし親子や孫達
さられている光
見られました
入口から裸足
ます。ある時
となり、熱い
んしるのお参
本人慰霊碑に
しました。舟
ジ川をぼろ舟
洗濯して代わ
これは風呂代
この舟がまた
水が重みで
底には水がた
や大はだか！
するの分！
本では考えら
美味しくは、ミ
本味！ドル本
た！風呂は本
た？！途中か
一日停電(数秒

施される。
の手を引いてお参り
景がどこの寺院でも
。この寺院参拝は、
でお参りとなつてい
はバスの中から裸足
石畳や砂利道をがま
りでした。
で亡くなられた、日
参拝し皆でお勤めを
れる、大きなイワラ
でクルーズ、川岸で
人、沐浴する人（こ
りと思われる？）、
大変、25人乗った
舟の横板の隙間から
よろと浸水する。船
まっているし、こり
そこまで物を大事に
りますが・・。日
れません。
ヤンマー料理どれ
た。ビール（大）1
円で約400円うま
洋式で、二人目が入
らお湯から水になつ
空っぽに・・。
間）はするし、今日
体験する。つづく

梅鶯仏教壮年会報

第83号
2010年
11月7日

ミヤンマー
の（旧ビルマ）
仏跡を訪ねて③
副会長 森 勝昭

養者があ
市民がな
が、はそ
さすが仏

した。この国や一般
に裕福とは思えない
教の国だ、お金は惜

てす
氏も幼い頃か
人分の力があ
の二人力だ」
そうです。
お母さん
んの登美さん
省出身の父親
夫婦で、戦前
時代において
も慕われたご
うです。
美さんが北陸
であるを知っ
で、王氏に、
真宗門徒が多
かするとご門
せんね」と申
「そうかも知
と笑顔で仰っ
んの本年8月
の長寿で逝去
やいのちへの
教者・念仏者
うに温かいの
母さんがご門
たれたのに違
ています。

『王貞治氏』

住職余談

予親するやいなや王氏の方から
来しげに話しかけて頂き、

見たの半分は女房と一緒に打つ
たのだと思つています」

言てはお姉ちゃん
っはいいけな

に感謝しなく
と涙ぐんで